

### 第3次山形県総合発展計画（長期構想）における男女共同参画の位置づけ

#### 1 第3次山形県総合発展計画（長期構想）について

- 計画期間：策定（平成22年3月）から概ね10ヵ年
- 基本目標：「緑と心が豊かに奏であい 一人ひとりが輝く山形」  
\*この緑と心との関わり合いをもとに、未来を拓く新たな可能性を皆で創り出すこと、そして誰もが自分らしさを発揮しながら、生き活きと輝く山形を創り上げていくことを目指します。

#### 2 男女共同参画（DV）の位置づけ

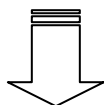
- 県づくり構想の3つの柱

暮らし

地域社会

産業・経済

安心が根付き、楽しさや充実感のある「暮らし」の実現



- 展開方向

- 1 子どもを生き育てる地域の総合力の再生・強化
- 2 未来の礎となる教育や人づくりの推進と多様な自己実現の促進
- 3 暮らしを支える公的基盤の確立
- 4 地域課題の解決や地域活性化を図る地域ビジネスの創出・振興

- ① 地域における保健・医療・福祉の充実と連携の促進
- ② 高齢者や障がい者などの生活を支える福祉サービスの充実
- ③ 児童虐待やDVなどの様々な虐待に関する対策の強化  
・児童虐待やDV、高齢者虐待などの防止と早期発見・早期対応に向けて、警察、NPO、医療機関、行政などの連携を強化するとともに、担当職員やスタッフの資質向上のための取組みを推進します。